記者発表資料

平成２５年　６月２５日
三　春　ダ　ム　管　理　所

リフレッシュ放流を活用して外来魚の繁殖防止

～　川の環境を守るため一時的に放流量を増やします　～

夏場の大滝根川の河川環境を守るため、三春ダムではリフレッシュ放流を実施します。その際、一定期間水位を保って外来魚（ブルーギル）の産卵を促し、産卵後に水位を低下させることで産卵した卵を干し上げて数を減らす取り組みを実施します。
この取り組みで、赤沼地点で最大約70cm水位が上昇する見込みです。河川を利用される方は十分に注意してください。

１．概要

夏場は大滝根川の流量が減少し、枯れた水草がいつまでも流れなかったり、よどみが発生したりすることがあります。

これらを解消すべく、三春ダムでは「**リフレッシュ放流**」を実施します。

リフレッシュ放流は、通常、ダムからの放流量が毎秒2～3m³であるものを、一時的に最大毎秒20m³に増やすことで、

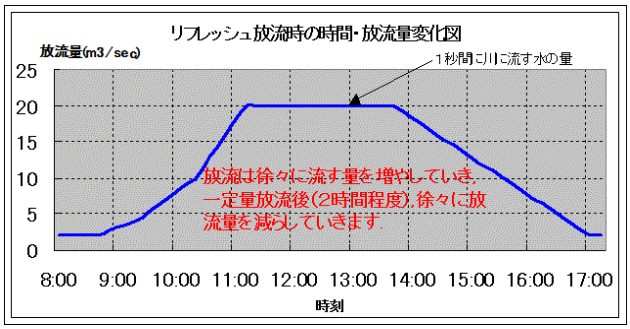
①川の石に付着した古い付着藻類を洗浄し、新しい付着藻類の成長を助ける
②川のよどみ（臭気等）を解消する
③底生動物・魚類の良好な生育環境の保全を図る

の効果を期待するものです。

また、この際、一定期間水位を保って外来魚（ブルーギル）の産卵を促し、産卵後にリフレッシュ放流を実施してダムの水位を下げることで産卵した卵を干し上げて数を減らす取り組みを実施します。（平成24年度から実施）

実施期間は、平成25年6月28日から10月4日までの隔週金曜日です。ただし天候（降雨の場合など）により中止の場合があります。

リフレッシュ放流により、ダム下流の大滝根川赤沼地点（郡山市中田町大字高倉字蔵屋敷）で、水位が最大約70cm上昇しますので、河川を利用される方は十分に注意してください。



○別紙：リフレッシュ放流の効果

【発表記者会　郡山記者クラブ】

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　三春ダム管理所
福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
電　話　0247-62-3145
ＦＡＸ　0247-62-3170
管理所長　小山（おやま）　幸男（ゆきお）（内線２０１）
管理係長　大柳（おおやなぎ）　博昭（ひろあき）（内線３５２）

リフレッシュ放流の効果

リフレッシュ放流の状況

毎秒約20立方メートル

リフレッシュ放流前の川の状況

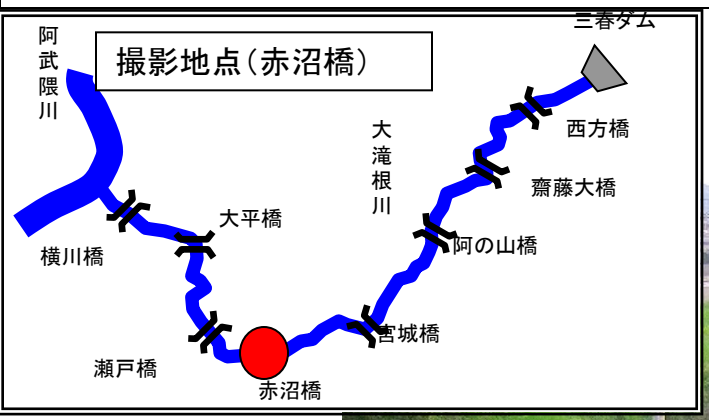
リフレッシュ放流後の川の状況

・古いこけなどを洗い流す

・よどみに溜まった有機物解消

赤沼橋から下流を望む

参考資料　2



河川流量　約2．0m3/s

三春ダムから流す水量を増やすため、**水深も増えます**（**約70cm**）ので注意願います。

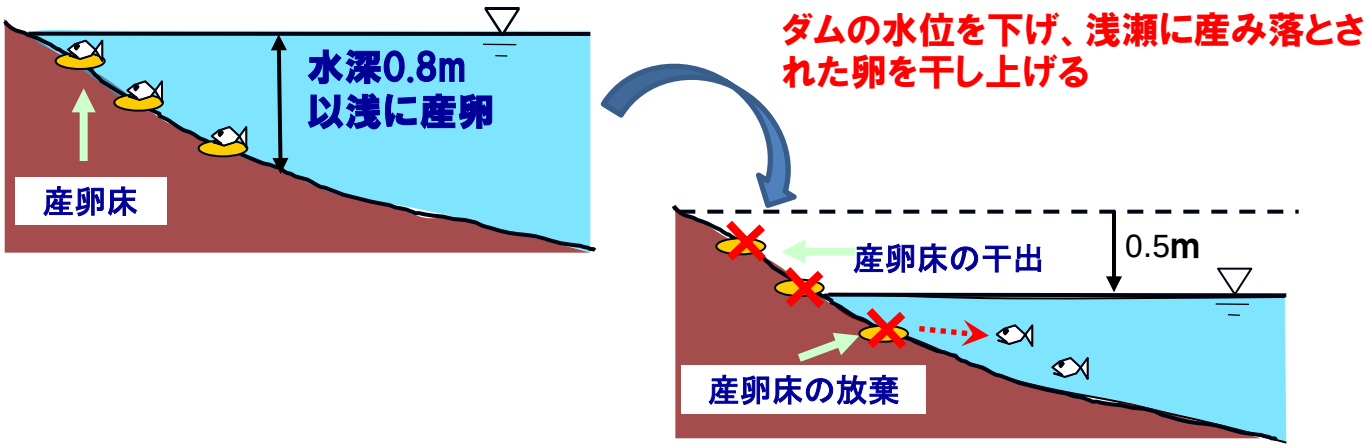
河川流量　約20．0m3/s

リフレッシュ放流を利用した ブルーギル産卵床の干し上げ

平成23年度まで
リフレッシュ放流での
水位低下幅は約0.3m

平成24年度
調査の結果、
・三春ダムのブルーギルの産卵水深は0.8m以浅
・リフレッシュ放流の時期とブルーギルの繁殖期が重なる
以上の2点が判明

約0.5m水位を下げる試みを実施した結果、ブルーギルの産卵床を干し上げ、又は放棄させることができた。　→　本年度も実施



●ブルーギルの繁殖開始時期
水温が20℃以上で産卵を開始（→ 6月中旬～7月下旬頃）